

上下顎骨切り術を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1病日	2病日	3病日	4~6病日	7病日	8~12病日	13~16病日:退院	【退院後の生活について】
	手術1日前	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2~4日目	手術後5日目	手術後6~10日目	手術後11~14日目
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・創部の出血がない ・痛みによる苦痛がない					・退院指導の内容を理解できる ・顎間固定のゴム牽引が自分でできる ・口腔ケアを実施できる
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します			・朝から胃の管より内服薬の注入を開始します		・胃の管が抜けたら、内服を開始します		
手術・輸血		手術		・手術前に採血した自己血を返血します				
注射		・点滴をします			・点滴を抜きます			
検査	・採血 ・身長・体重測定		・採血	・採血 ・レントゲン		・採血		
処置	・うがい液を使用し、うがいをしてください(朝、昼、夕、眠前) ・歯科診察・処置(平日8:30~、火曜日:8:00~、土日・祝日:9:00~)を行います(毎日)	・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・フットポンプを外します ・歩行後は、弾性ストッキングを脱ぎます	・尿管を抜きます(手術後2日目)	・経過をみて創部のドレーン(管)を抜きます	・ワイヤーの顎間固定を外し、ゴム固定を行います	・医師の指示後、圧迫帯を外します
			・手術室で尿の管を入れます					
			・手術室で創部にドレーン(管)を入れます					
			手術室で鼻から胃に管を入れます		・胃の管を抜きます			
			・ワイヤーで顎間固定を行います					
			・創部の安静を保つため圧迫帯をつけます					
			・心電図、酸素飽和度モニターをつけます		・心電図モニターを外します(手術後5日目)	・酸素飽和度モニターを外します(手術後7日目)		
食事	・夕食後は、指示された時間から飲食はできません	・飲食はできません	・医師の指示後、飲水できます ・食事はできません	・朝食から、鼻から入っている管より流動食を注入します	・胃の管を抜去後、食事(流動食)を開始します ・状態に合わせて食事形態が変わります			
活動・安静	・制限はありません	・病室内でお過ごしください	・ベッド上で安静にお過ごしください ・排便はベッド上で行いますので、ナースコールでお知らせください	・トイレのみ歩けます	・病棟内でお過ごしください	・制限はありません		
清潔	・シャワー浴をしてください	・シャワー浴はできません		・身体を拭きます		・シャワー浴ができます(手術後4日目より)		
	・歯磨きを行ってください(毎日)	・洗面、歯磨きを済ませてください	・看護師の介助で口腔ケアを行います			・口腔ケアを行ってください(毎日) ・口腔ケアがご自身でできるよう、必要時は看護師と一緒にいきます		
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・パンフレットを用いて、術後の口腔ケアの方法を説明します					・顎間固定のゴム牽引の方法を説明します	・退院後の生活について説明します ・退院後の食事について説明します。必要時は、管理栄養士からも調理の工夫について説明します	
その他	・手術の同意書は職員にお渡しください	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、保管してください ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、7階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みや吐き気があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください					

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

